NIE実践報告

1．タイトル：新聞から現代社会を考える

2．学校名

神奈川県立大船高等学校

3．実践者名（代表者名）

鈴木和彦

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会・現代社会　195人

6．単元（本時の学習課題）名

基本的人権と新しい人権、裁判所と人権保障

7．目標(狙い)

基本的人権と新しい人権の種類と内容、また裁判所と人権保障の内容について理解する。その際に、学習のきっかけとして新聞をより身近な存在として理解させると共に新聞の見方・読み方を指導する

8．評価の視点

現代社会の問題を新聞をきっかけにして考えようとしているか。また共同研究において、グループの一員として協力し、現代社会の問題を研究し、レポートにまとめ、それを皆に分かりやすく発表しようとしたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

基本的人権と新しい人権（4時間）
裁判所と人権保障（4時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①基本的人権の種類と内容について理解する。（3時間）
②基本的人権を考える際の適切な事例を新聞記事から選び、グループで討議し発表する。（1時間）
③裁判所と人権保障について理解する。（2時間）
④裁判員制度について理解する。（1時間）
⑤裁判員制度を考える際の参考になるための１つとしてビデオの説明と鑑賞（1時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒も知っている最近の新聞記事を取り上げたので、社会の動きをより身近に感じることができ、教科書の内容をより生きた知識として定着させることができたようだ。また記事から発展して優れた映画の鑑賞は、生徒自身に裁判員制度の問題を今後じっくりと醸成すべき萌芽といったものを植えつける契機となった。

12．成果と課題

新聞記事を利用する授業を経験し、新聞記事を一方的に受け取るあり方から新聞記事を自分なりに理解し受けとめるあり方に一歩進んだ生徒も見られた。今後は今回の実践のあり方をより一層深く展開することができるようにしていきたい。